

福島から考えよう。食と農と命のこと

# 穂波

ふくしま農民連通信

# h o n a m i

vol.360

月号  
July

## 特集 福島で原発事故から 14年シンポジウム

穂波クロス  
五風十雨ほか

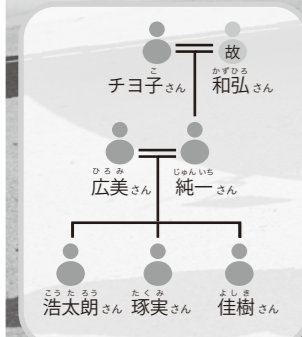
あったか  
家族



相馬市

岡本 純一さん

栽培作物  
米・3・6 ha  
自家用野菜



左から、琢実さん 広美さん 純一さん 佳樹さん

## ふくしまのいま



麦刈りはじまります（喜多方市）

この度のお米の高騰は完全な農政の失敗だと思えます。減反を奨励し、お米を作らないことに報奨金まで与えた過去を忘れたのでしょうか？働かないことにお金を払うことが「人心をいかに荒らす」かを、多くの方々が指摘していたと思えます。「人心」だけでなく、「広大な耕作地」を荒らしました。「自民党の農政の失敗」を私達国民一人ひとりから負わされている、という自覚が大事であるところの頃よく思えます。

福島県会津若松市 鎌田 郁子さん

今回の米騒動が、日本の農政のあやまりを認め改善されるのかなと期待していたのに、輸入米を増やそうとするのは残念なこと。政府は日本の食料自給率38%を上げることをかんがえるべきと思う。

福島県喜多方市 大塚 玲子さん

投稿ハガキにありました、「お米が届く安心」、本当にそう思います。お米の値段が昨

おはがきありがとうございます。



年より2倍↑それどころか、未だに店頭には米不足。秋になっても安心できるのか？。政府の農政の失敗です。

北海道帯広市 浅沼 双枝さん

私たちの身体は、食べるものからできている。本当にそう思う毎日です。食生活の大切さを子ども頃からしっかりと教えるのが大事ですね。

大阪府羽曳野市 西村 一夫さん



大阪府東大阪市  
牧 洋子さん



大阪府東大阪市  
羽山 ヒサヨさん

大阪府東大阪市  
木村 艶子さん

### 募集中!

穂波では読者のみなさんの「農」にまつわる近況を、ご紹介しています。暮らしの中で、お米の話、あるいは農政への意見など、お寄せください。絵手紙、川柳、俳句などもお待ちしております。

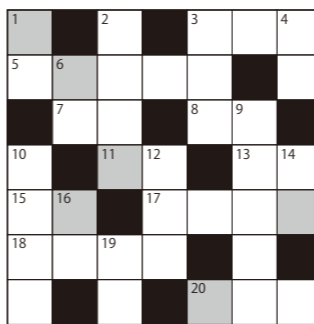
### 産直米放射能 分析結果

採取日	検体	セシウム134	セシウム137
4月25日	福島県産コシヒカリ	不検出	不検出

測定機器：NA-1シーレシオン 検出限界：10Bq/Kg

## 穂波 クロス

パズルを解いて  
図書カードをもらっちゃおう!



大好評プレゼント付きのクロスワードパズルのコーナーです。楽しくパズルを解きながら「穂波」に関するご意見ご希望をお寄せください。

### 【ヒント】

大きくて鮮やかな色をしてます

### 【応募方法】

■を並べてことばにしてください。正解者の中から5名の方に図書カードを進呈します。住所、氏名、電話番号をハガキに記入して下さい。

### 【送先】

〒960-1101 福島市大森字日ノ下4-1 福島県農民連

【締切り】2025年7月末日（当日消印有効）

### 【当選者発表】

賞品の発送を持って返させていただきます。

### →ヨコのカギ

- ③著名人、有名人を指す言葉。
- ⑤取扱業者及び特約店のことを指す言葉。
- ⑦漢字を元にして日本で考え出された音節文字。
- ⑧外出して家にいないこと。「〇〇番」
- ⑩中国原産の果実。滋賀県には、この名前が付いている湖があります。
- ⑫仕事を仕上げるのに必要な時間や手数。
- ⑬山ほど高くなく、なだらかに盛り上がっている土地。
- ⑮ワインで有名なヨーロッパ西部の国。
- ⑰対になっているものの一つ。
- ⑱イネ科の多年草。秋、黄褐色の穂をつける。

### ↓タテのカギ

- ①姿・形・色彩などが華やかで目立つこと。
- ②人工衛星の電波を利用し、自動車の現在位置や進行方向などを表示する装置。
- ④売り出し。特売。
- ⑥同じ団体の中で上の人の命令や指図を受けて働く人。
- ⑧数や量などが示した値よりも下であること。タコではない。
- ⑨クロムを11%以上含有する、さびが付きにくい鋼。
- ⑩犬の仲間のけもの。「〇〇〇〇少年」
- ⑫日本の伝統的な様式。日本風。
- ⑭穀物や酒などの量を量る木製・金属製の器。
- ⑯首の付け根から腕の付け根にかけての、体の部分。
- ⑰地面を長く掘って、水が通るようにしたところ。

【358号の答え】イチバンチャ（一番茶）

## 五風十雨

先日、原発事故から14年を過ぎてのシンポジウムに参加した。14年の歳月は長いようで短く、日々忘れていたことを知る。参加するにあたって、あの時書かれた記録集なるものを読み、ほとんど読んでいないものもあり、避難された方々のその後が気になった。

会場では、あの頃の集いや仮設でお会いした方々に会うことができ、亡くなった方も思い出す一日となった。

2020年に発行された農民連の30年誌を見つけた。ほとんど中身は見えていなかったことがわかった。私も参加した4月26日の東京電力本社行動の写真は生々しく、あづま体育館に避難していた双葉郡の牛飼い連合の看板を持って参加された方々は、今どうしているかと思いつく。おにぎりをたくさん作って乗り合わせたバスの中での会話、朝早く牛たちに餌をやってから参加したこと。これまでたくさんの方の前で話したことなどなかった方々の涙ながらの話は忘れることができない。牛たちも家族の一員なのだ。あの時を忘れないで生きたいと思った。

（松）

◆この製品は、地球にやさしいNON-VOC UVインク 省電力LED-UVで印刷されています。

### 人は変わるよね!

自分が農業をやるとは思わなかった

自分が農業をやるとは!?

子どもたちも手伝い、今年の田植えは無事終了。兼業で農作業に励む、純一さんと広美さん。「自分が農業をやるとは思わなかった。見てはいたけど、やる気はなかった」と話す純一さん。20年前、米づくりの要である父が入院。父に代わり、突然米をつくることに。「一年やれば、できないことはないか」と純一さん。広美さんも「苗も育ててきている」と、準備をしたふたり。今思えば「親父がいるうちにもう少しやっておけばよかったな。見た感じはそんなでもなかったんだけど」と振り返る純一さん。父が亡くなってからは、近くの農家に聞きながら、作業は探り探り。今でも頭を悩ませること、「肥料の降り方とか。こいつは今もわかんない。追肥とかね。」

### 人は変わるよね

米だけでなく、野菜もまめにつくる純一さん。畑の管理をしていた母が年をとり、「荒らしておくわけにはいかないし、作らなくても草刈りや耕しておかなくちゃいけない。だったら植えた方がいいでしょ。始まりはそんな感じですよ。作物は手をかけた分だけ実るからね。自分が畑をつくると思わなかった。人は変わるよね。基本的には農業は好きなんだなあと、嫌じゃないんだなあと感じてやっています。野菜はもっぱらお知り合いにおすそ分け。」

### 田んぼは好きじゃねえとできないと思う

稲刈りは純一さんと広美さんふたりで。「なんだかんだ言っても、農作業はふたりじゃないとできないことが多い」と純一さん。収穫後「出来上がった米袋の数で「喜一憂」する広美さん。出来の良し悪しに関わらず、米農家の特権、収穫した新米を家族で味わう。今年の米の出来、米価は?「今まで米の値段が上がらず、持ちこたえられない農家は多かった。特に専業農家は大変。ここまで続けて持ちこたえてきた農家だって大変だ。田んぼは好きじゃねえとできないと思うな。つくっている人は基本好きだと思う。自分は体を動かせるうちはやっています」と純一さん。岡本家は無理なく、兼業でこれからも米づくりを続ける。